

第5回宮城県高校生溶接技術競技会

平成28年1月16日 会場：ポリテクセンター名取

県内の工業系高校12校から36名の選手が参加し、第5回宮城県高校生溶接技術競技会がポリテクセンター宮城を会場に開催されました。本校から校内予選を勝ち抜いた機械技術部所属の3名が出場し、競技課題「A-2F」に挑戦しました。その結果、個人の部で123位を独占、また団体の部でも優勝する快挙を成し遂げることができました。

東日本大震災から復興等に伴い、溶接技能者の育成が求められ、その技能・技術の向上が急務となっており、工業系学科を有する高等学校においては、日頃より基本的な溶接の技能・技術の向上を目指し取り組んでいる状況です。

宮城県工業高等学校

優勝おめでとう！

- ☆個人の部 優勝 機械科2年 菅井晃平選手 (名取第二中)
- 2位 機械科1年 吉田浩人選手 (宮城野中)
- 3位 機械科2年 松本大雅選手 (南吉成中)
- ☆団体の部 優勝 宮城県工業高等学校 (機械技術部)



団体優勝



菅井選手



松本選手



吉田選手



マイスターから講評



技能五輪選手デモンストレーション

継続指導を大切にしています。

県工生の活躍を期待します！

機械科2年 菅井晃平選手（名取第二中）

私は今回で2回目の出場となり、去年出場したときには、入賞する自信があったものの、本番ではミスをしてしまい残念な結果となってしまいました。今年は必ずいい結果を残してやろうと11月からの約2ヶ月半毎日練習に取り組み、大会では個人優勝、そして団体優勝することができました。優勝することができたのも顧問の先生や機械科の先生、高度熟練技能者の方、部員などの皆さんの支えがあったからだと思います。これからも支えてくれる皆さんに感謝しながらものづくりをし、いろいろなことに挑戦していきたいです。

機械科2年 松本大雅選手（南吉成中）

自分にとって2回目の溶接大会ということで、去年の1月は惜しくも1点差で3位をとられ、団体の方も何点差で1位を逃してしまったという屈辱を晴らしてやるという思いで、今回の大会に挑みました。今回はCAD検定の練習が重なり、十分な練習ができなかったのですが、結果からいうと個人3位そして団体1位、そして個人1位、2位、3位、県工独占というこれまでにない偉業を成し遂げました。この結果は自分にとっても皆にとっても去年の屈辱を最高の形で晴らせたかなと思いました。これは自分の実力もありますが一番はサポートしてくれた部員、先生方皆で「チーム県工」でやってきたからだと思います。これからもさまざまなことに精進していきたいです。

機械科1年 吉田浩人選手（宮城野中）

私は先日行われた、「第5回宮城県高校生溶接技術競技会」に出場し、個人2位、団体では優勝という成績を残すことができました。私は1年生なので、今回が初めての出場で、不安で一杯だったのですが、このような結果を出すことができるととても嬉しかったです。

ただ、この結果は自分1人で勝ち取ったものではありません。なにも知らなかった私に指導してくださった先生、先輩方、材料の加工を手伝ってくれた部員のみんな、さらには家族の支えがあつての結果だと思っています。この感謝の気持ちを忘れずに、今回の大会で学んだこと、感じたことを生かしてこれからの練習に取り組み、来年も個人・団体ともに良い結果を残せるよう頑張っていきたいと思っています。

